



中級検定の方法と講習について

まず、既定の項目毎に実施させ、間違い、知らない技術について指導講習する。その後理解して実施できるかを検定する。検定では減点は項目ごとに行う。

レスキュー技術検定チェックシート

- ◎良い（100点、教わらなくても正しく素早く出来る、あるいは装備している。）
- まあ良い（75点、教わらなくてもなんとか出来る、あるいは正しい装備品に近い。）
- △要練習（50点、教わってようやく出来る、あるいは正しい装備品とはいえない。）
- ▲要指導（25点、指導者がついてようやく出来る、正しい装備をしていない。）
- ×ダメ（0点、教わっても出来ない、あるいは装備していない。）

平成 年 月 日、場所 検定記入者

岩場でのレスキュー技術検定・中級				
氏名→				
レスキュー器具の使用方法、ロープの結び方、使い方				
半マスト結び（片手で行う）				
仮固定の結び（ミュールノット）				
仮固定の結び（マスト結び）				
固定の結び				
フリクションヒッチ（マッシュャー、バルトタン、ポロネ、ブレーキヒッチ、フレンチ）				
フリクションヒッチ回収技術（Kシステム、中田システム、※桐生システムは講習とする）				
※講習項目、桐生システムは講習とする				
オートストッパー解除技術（ジジ、ルベルソ）				
カラビナストッパー設置、解除技術（ガルーダ）				
※講習項目、カラビナストッパー設置、解除技術（ビエンテ、ロレンツイ）				
アッセンダー（持っている器具を使えるか）				
その他（身支度など）				
あらゆる状況下での支点設置技術				
支点の新設技術（ハーケン、ボルト、その他）				
流動分散荷重の設置				
固定分散荷重の設置				
荷重方向とスリング角度の技術				
道具にこだわらない懸垂下降技術と空中での停止技術				
器具での懸垂下降と空中での仮固定技術（器具限定）				
半マスト結びでの懸垂下降と空中での仮固定技術				
結び目のあるロープの懸垂下降技術				
その他（ ）				

あらゆる状況での自己脱出技術（空中）				
スリングが一本だけでの脱出				
器具を用いた脱出（時間限定、分/m）				
フリクションヒッチによる脱出				
引き上げ理論と効率的セット方法（垂壁）				
1/3システムでの引き上げ				
1/5システムでの引き上げ				
1/7システムでの引き上げ				
※講習項目、1/9システムでの引き上げ				
テラスからの怪我人の降ろし技術（75～110度）				
背負ってのカウンターラッペル（20m以上）				
補助者のロープ操作による背負い降ろし（80m程度）				
垂壁でのカウンターのラッペルによる救出技術				
キャッチから同時降りによる救出				
※講習項目、KYシステムでのオーバーハングからの救助は講習項目とする。				
垂壁での懸垂下降失敗者を救出する技術				
懸垂下降支点（上部）からの救出（別ロープによる）				
※講習項目、同一ロープでの救出は講習項目とする。				
ケガ人の応急処置、梱包、搬送技術				
手、足の骨折箇所の手当て				
※講習項目、ロープ担架				
背負い搬送				

合計点				
平均点				
合 否（70点以上を合格とする。）				

検定員の講評	
--------	--